

国語科学習指導案

授業者：加茂高等学校 安藤理絵

- 1 科目名：古典B（古文）
- 2 単元名／教材名：歴史物語の読解／「弓争ひ」（『大鏡』）
- 3 対象者：2年生（文系） 41名
- 4 単元の内容

単元 の 目 標 と 評 価 規 準 ・ 評 価 方 法	①単元の目標		
	ア	作品に関心を持ち、意欲的に読み進めようとしている。	（関心・意欲・態度）
	イ	古文を読み、作品の設定や登場人物の行動、心情などを推測する。	（読む能力・書く能力）
	ウ	古典文法、単語の知識・作品の歴史的背景を理解する。	（知識・理解）
	②単元の目標設定の理由		
<ul style="list-style-type: none"> ・後期に作り物語の『源氏物語』を読み、敬語の学習を本格的に始めた。今回『大鏡』で歴史物語に触れ、古文読解に役立つスキルを身につけさせたい。コロナ禍で休校になったりして、本学年の生徒は古文や漢文に触れる機会が少ない。できるだけ多くの初見の文章を読んで、自ら進んで読み解いていく力と自信をつけさせたい。また、本文の表現に着目して、表現意図まで考えさせる。そして、その気づきを自らの文章を書くときの参考にしていけるように助言していきたい。 			
③中心となる学習活動			
<ul style="list-style-type: none"> ・古文に描かれている対比を意識して読解する。 			
④言語活動の工夫			
<ul style="list-style-type: none"> ・自分で読解した内容をもとにしてグループ活動を行う。グループ活動をもとにして自分の考えを深める。MetaMoJi、学習プリントを用いて自分の考えを記述していく。 			
⑤評価			
	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応
関心 ・ 意欲 ・ 態度	①作品に関心を持ち、意欲的に読み進めている。 ②ワークシートやMetaMoJi内に自己の考えを表現しようとしている。	観察（机間指導） （発言） 点検（ワークシート ・MetaMoJi）	・発言や記述がない生徒には、個別に声かけをし、考えるヒントを提示する。
読む ・ 書く 能力	①作品の言葉に着目し、読解内容を表現している。 ②作品の解釈を本文の叙述に基づいて記述している。	観察（机間指導） （発言） （発表） 点検（ワークシート ・MetaMoJi）	・他者の記述内容を示して、考える材料とさせる。 ・グループ交流を行い、他者の意見を参考にするよう促す。
知識 ・ 理解	①読解のための基本的な敬語・単語の意味を理解している。	観察（音読） 点検（プリント・定期 考査）	・ペア交流を通して疑問点を解消させる。 ・単語帳や文法書などの参照ページを示す。

5 単元の学習概要

時間	教材	主な学習活動の流れ
1	雲林院の菩提講①	○作品に関する基礎知識を習得し、本文を大まかにとらえる。 ・語り手の人物像、場の設定について古文から読み取る。 ・必要な情報を検索し、グループ交流を行い、ワークシートに記入する。 ・序文の表現から、作者の執筆意図を探ることを課題とする。
2	雲林院の菩提講②	○作者の執筆意図に迫る。 ・語り手の世継と繁樹の名前に込められた意味や、紀伝体とはどのような文体かを考え、「ただ今の入道殿下の御ありさまの～世の中のことの隠れなくあらはるべきなり」に注目し、執筆意図を捉える。
3	弓争ひ①	○作品に関する基礎知識を習得し、本文を大まかにとらえる。 ・本文を音読し、本文のあらすじを大まかに掴む。 ・古文単語や敬語などに注目し、的確に現代語訳し、内容を把握する。 ・ペアまたはグループで不明点を補足する。（適宜教員が補足）
4	弓争ひ②	○弓争いの叙述から、登場人物の心情などを推測する。 ・敬語に着目し、作者が重要視しているのは誰かを考える。 ・ <u>道長と伊周についての叙述を比較し、気づいた点（課題1）</u> を交流する。 ・発表するためのワークシートをまとめる。（課題1）
5	【本時】 弓争ひ③	○弓争いの叙述から、作者の意図を推測する。 ・前時の内容をグループごとにミニ発表会を行う ・自グループに戻り、報告会を行う。 ・ <u>作者がこのエピソードで描きたかったことは何か（課題2）</u> をまとめる。
6	他の話と比較する	○兼家の3人の息子の人相についての話（飯室の権僧正の人相見の話）源氏物語の光る君の人相の話など初見の古文を読み、気づきをまとめ、交流する。 ・他のテキストを読み、内容を把握する。 ・複数の人物を描く時の（古文の）叙述について気づいた点をまとめる。

6 本時の学習指導案

本時の位置	5時間目（全6時間）		
本時の学習目標	ア 古文を読むための基本的知識を読解に活用しようとしている。（関心・意欲・態度） イ 発表を聞き、自分の考えと比較して課題2（叙述の分析から作者の意図を推論する）を推測し、文章化しようとしている。（読む能力・書く能力）		
事前の準備	① MetaMoJiのワークシートは学年の教科担任で共有する。（教科担任の扱いの自由度を担保するために本文と一部の補足事項のみを掲載する。） ② MetaMoJiで共有のためのワークシートを提示する。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 3分	□音読	①本文を音読し、内容を確認する。	・ペアで交互に音読し、本文の内容を確認する。
展開 37分	□本時の学習内容と目標の確認	②本時の課題を把握する ③役割分担する ④リハーサルを行う	・学習課題と本時の流れを提示する。 ・グループで役割分担（発表者1名、他は聞き手）する。 ・発表前のリハーサルを行う。 ・聞き手はメモを取りながら聞き、各自1つ質問することを指示しておく。 ・発表者は根拠となる本文を示すことを指示する。

	<input type="checkbox"/> 内容把握	<p>⑤各自、席を移動して他グループの発表を聞き、交流を行う。</p> <p>⑥自分のグループに戻り、報告を行う。</p> <p>⑦課題2について考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表をメモするプリントを配布する。 ・発表後に質疑応答を行い、課題を深く理解させる。 ・活動の観察を行い、よい意見は全体で共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>目標Aに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準] 古文を読むための基本的知識を読解に活用しようとしている。</p> <p>[方法] 観察（机間指導） 点検（ワークシート・MetaMoJi）</p> <p>[状況Cの生徒への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・着目すべき単語や活用する文法事項を指し示し、MetaMoJi 内の書き込みを確認するよう促す。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの発表と比較し、他グループの良かった点を報告し、課題2について考察する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>目標イに対する評価規準と評価方法</p> <p>[規準] 発表を聞き、自分の考えと比較したうえで課題2（叙述の分析から作者の意図を推論する）を推測し、文章化しようとしている。</p> <p>[方法] 観察（机間指導） 点検（ワークシート・MetaMoJi）</p> <p>[状況Cの生徒への手立て]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲林院の菩提講での考察のワークシートを参照するように促す。 ・このエピソードで、道長と伊周の競べ弓の結末がどう描かれているかを確認させる。 </div>
ま と め 10 分	<input type="checkbox"/> まよりの記述	<p>⑧課題2を記述する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・MetaMoJiのワークシートに記述させる。 (生徒の記述を観察し、ほとんどの生徒が記述できたことを確認する。その上で相互に見られるように設定し、お互いの記述を読み、参考にするように促す。) ・次回の予告をする。 (生徒の進捗状況によっては、短い文章をMetaMoJiに送信し、下読みさせる。)